

No	樹木番号	樹種名	形状寸法			活力診断		外観部位判定			外観判定	外観診断判定理由	機器診断						総合判定	総合判定理由	処置計画	撤去対象	処置の緊急	レジ必須	レジ推奨			
			H (m)	U (cm)	W (cm)	葉	花	根	幹	皮			葉	幹	皮	高さ	葉	幹								皮	幹	皮
1	24	サクラ	5	138	5	4	4	B1	A	B2	B2	主幹や大枝が切除され樹勢衰退傾向にあり、活力判定では著しい被害であるため、今後定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、園路上の枯枝は除去が必要である。悪化傾向の場合は撤去・植え替えの検討が望ましい。								B2	主幹や大枝が切除され樹勢衰退傾向にあり、活力判定では著しい被害であるため、今後定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、園路上の枯枝は除去が必要である。悪化傾向の場合は撤去・植え替えの検討が望ましい。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。悪化傾向の場合は撤去・植え替えの検討が望ましい。		○				
2	25	ヤマモモ	9	83	4	3	3	B2	B2	B1	B2	根元から幹にかけて打診音異常・開口空洞(芯達)が見られ、樹体内部で腐朽の進行が疑われるため、機器診断が必要である。大枝に複数の樹皮欠損・がんしゅ様こぶが見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。腐朽により幹折れ・倒伏の危険性があるため風圧軽減剪定が望ましい。										B2	根元から幹にかけて打診音異常・開口空洞(芯達)が見られ、樹体内部で腐朽の進行が疑われるため、機器診断が必要である。大枝に複数の樹皮欠損・がんしゅ様こぶが見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。腐朽により幹折れ・倒伏の危険性があるため風圧軽減剪定が望ましい。	風圧軽減剪定と短期周期の継続観察が必要である。				
3	26	サクラ	8	95	7	3	3	B1	B2	B1	B2	幹に樹皮欠損が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、テニスコート上の枯枝は除去が必要である。								B2	幹に樹皮欠損が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、テニスコート上の枯枝は除去が必要である。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。		○				
4	27	サクラ	15	180	10	3	4	B2	B2	B2	B2	根元に鋼棒貫入異常、根元から幹にかけて打診音異常、幹にコフキサノコンカケが見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、広場上の枯枝は除去が必要である。								B2	根元に鋼棒貫入異常、根元から幹にかけて打診音異常、幹にコフキサノコンカケが見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、広場上の枯枝は除去が必要である。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。		○				
5	28	サクラ	6	142	3	4	5	C	C	B2	C	根元に鋼棒貫入異常・ベッコウタケ、全体に打診音異常・樹皮枯死が見られる。倒木の危険性があるため、撤去・植え替えが必要である。								C	根元に鋼棒貫入異常・ベッコウタケ、全体に打診音異常・樹皮枯死が見られる。倒木の危険性があるため、撤去・植え替えが必要である。	撤去・植え替えが必要である。		○				
6	29	サクラ	9	181	11	3	3	B2	B2	B2	B2	根元にベッコウタケ残渣が見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。露出根に複数の樹皮欠損、幹・大枝に広範囲の樹皮欠損、大枝に座生子実体が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、ベンチ上の枯枝・増生病発生枝は除去が必要である。									B2	根元にベッコウタケ残渣が見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。露出根に複数の樹皮欠損、幹・大枝に広範囲の樹皮欠損、大枝に座生子実体が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、ベンチ上の枯枝・増生病発生枝は除去が必要である。	枯枝・増生病発生枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。		○			
7	30	サクラ	7	196	9	3	3	B2	A	B2	B2	根元にベッコウタケが見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。露出根に樹皮欠損・切断痕、根元に切除不可の巻き根、大枝に樹皮枯死・腐朽・打診音異常が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、広場上の腐朽枝はスタブカット・街路灯接触枝とともに除去が必要である。破損している支柱は再設置が望ましい。									B2	根元にベッコウタケが見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。露出根に樹皮欠損・切断痕、根元に切除不可の巻き根、大枝に樹皮枯死・腐朽・打診音異常が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、広場上の腐朽枝はスタブカット・街路灯接触枝とともに除去が必要である。破損している支柱は再設置が望ましい。	腐朽枝・スタブカット・街路灯接触枝の除去と短期周期の継続観察、破損している支柱の再設置が必要である。		○			
8	31	サクラ	7	132	6	3	3	B2	B1	B2	B2	根元に切除不可の巻き根・複数の開口空洞、幹分岐部に入り皮、大枝にがんしゅ様こぶが見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、池上の枯枝は除去が必要である。								B2	根元に切除不可の巻き根・複数の開口空洞、幹分岐部に入り皮、大枝にがんしゅ様こぶが見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、池上の枯枝は除去が必要である。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。						
9	32	サクラ	8	195	8	3	3	B1	B1	B2	B2	露出根に複数の樹皮欠損、根元に切除不可の巻き根、幹に打診音異常・樹皮欠損が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、池上の枯枝は除去が必要である。								B2	露出根に複数の樹皮欠損、根元に切除不可の巻き根、幹に打診音異常・樹皮欠損が見られる。ルートカラーが見えないことから深植えになっており今後樹勢への影響を与える恐れがあるため、定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、池上の枯枝は除去が必要である。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。						
10	33	サクラ	12	217	8	3	3	B2	B1	B2	B2	樹勢不良、根元に鋼棒貫入異常・多数のベッコウタケが見られ、樹体内部で腐朽の進行が疑われるため、機器診断が必要である。落枝の危険性があるため、枯枝は除去が必要である。								B2	樹勢不良、根元に鋼棒貫入異常・多数のベッコウタケが見られ、樹体内部で腐朽の進行が疑われるため、機器診断が必要である。落枝の危険性があるため、枯枝は除去が必要である。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。		○				
11	34	コナラ	14	158.9	8	3	3	A	B2	B1	B2	幹に座生子実体・打診音異常・樹皮欠損・広範囲の樹皮枯死が見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。幹分岐部に入り皮、幹にがんしゅ様こぶが見られることから、今後定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、緑地上の樹皮欠損枝は除去が必要である。								B2	幹に座生子実体・打診音異常・樹皮欠損・広範囲の樹皮枯死が見られ、樹体内部で腐朽が疑われるため、機器診断が必要である。幹分岐部に入り皮、幹にがんしゅ様こぶが見られることから、今後定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、緑地上の樹皮欠損枝は除去が必要である。	樹皮欠損枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。						
12	35	サクラ	9	177.8	10	3	2	B1	A	B2	B2	露出根に樹皮欠損、大枝に打診音異常・樹皮欠損・開口空洞・がんしゅ様こぶ・フェンス食い込みが見られることから、今後定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、歩道上の枯枝は除去が必要である。								B2	露出根に樹皮欠損、大枝に打診音異常・樹皮欠損・開口空洞・がんしゅ様こぶ・フェンス食い込みが見られることから、今後定期的な観察の実施が望ましい。落枝の危険性があるため、歩道上の枯枝は除去が必要である。	枯枝の除去と短期周期の継続観察が必要である。		○				
13	36	ウメ	4	54	3	4	4	C	B2	B1	C	樹勢不良、根元に鋼棒貫入異常・大きな揺らぎがあり、倒木の危険性がある。通路に近いため、至急撤去・植え替えが必要である。								C	樹勢不良、根元に鋼棒貫入異常・大きな揺らぎがあり、倒木の危険性がある。通路に近いため、至急撤去・植え替えが必要である。	至急撤去・植え替えが必要である。		○				

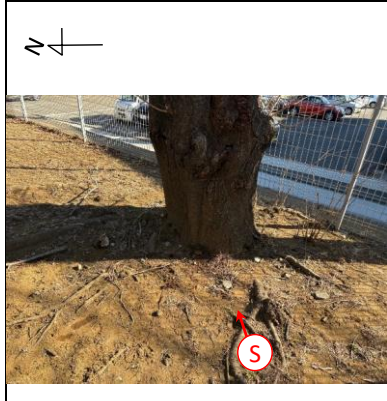
街路樹診断カルテ

No. 1

場所				樹木医				診断日				
樹木番号				樹高(H)=	8.0 m	幹周(C)=	215 cm	枝張(W)=	7.0 m			
樹種名	サクラ	植栽形態	<input type="checkbox"/> 単独樹 <input type="checkbox"/> 植栽帯 <input checked="" type="checkbox"/> 緑地内 <input type="checkbox"/> その他					支柱	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 破損			
活 力 診 断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等					良 ← <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 → 不良					
	樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等					<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5					
	所見	過去の強剪定により公道側は大枝を切除されている。公園側に樹形が傾き樹形のバランスが悪く、大枝切除跡が散見される。胴吹きが目立つ。										
活力判定	<input type="checkbox"/> 健全か健全に近い <input checked="" type="checkbox"/> 注意すべき被害が見られる <input type="checkbox"/> 著しい被害が見られる <input type="checkbox"/> 不健全											
外 部 観 察 診 断	診断内容	部位	根	元	幹	骨格となる大枝						
	樹皮枯死、欠損、腐朽 (周囲長比率)		■なし	<input type="checkbox"/> 1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	<input type="checkbox"/> なし	■1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	■なし	<input type="checkbox"/> 1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	
	芯に達した開口空洞 (周囲長比率)		<input type="checkbox"/> なし	■1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	<input type="checkbox"/> なし	■1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	■なし	<input type="checkbox"/> 1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	
	芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)		■なし	<input type="checkbox"/> 1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	■なし	<input type="checkbox"/> 1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	■なし	<input type="checkbox"/> 1/3未満	<input type="checkbox"/> 1/3以上	
	上記3項目のうち 最大被害部の周囲長比率		被害部幅/被害部周囲長=周囲長比率 5 / 249 = 2%		被害部幅/被害部周囲長=周囲長比率 14 / 215 = 7%		枯枝	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (φ5, L=200 cm)				
	キ ノ コ(子実体)		<input type="checkbox"/> なし	■あり (コフキササルノコシカケ)		<input type="checkbox"/> なし	■あり (座生)		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		
	木 槌 打 診(異常音)		<input type="checkbox"/> なし	■あり (GL 0-0.2 m)		<input type="checkbox"/> なし	■あり (GL 0.2-1.3 m)		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		
	分岐部・付根の異常		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		
	胴枝枯れ性などの病害		<input type="checkbox"/> なし	■あり (根頭がんしゅ病)		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		<input type="checkbox"/> なし	■あり (増生病)		
	虫穴・虫フン、ヤニ		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		
	根元の揺らぎ		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		建築限界越え(車道側)			建築限界越え(歩道側)			
	鋼棒貫入異常		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		幹	■なし <input type="checkbox"/> あり		幹	■なし <input type="checkbox"/> あり		
	巻き根		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		( )	( )		( )	( )		
ルートカラー		<input type="checkbox"/> 見える	■見えない		枝	■なし <input type="checkbox"/> あり		枝	■なし <input type="checkbox"/> あり			
露出根被害		<input type="checkbox"/> なし	■あり (樹皮欠損)		( )	( )		( )	( )			
不自然な傾斜		■なし	<input type="checkbox"/> あり ( )		( )	( )		( )	( )			
所見	①根頭がんしゅ病 複数 ②露出根 樹皮欠損 40×1 その他複数 ③根元 コフキササルノコシカケ ④打診音異常 GL 0-1.3 m 大 ⑤幹 子実体(座生) ⑥幹 腐朽 50×14 (215)×15/55 ⑦根元 芯達開口空洞 10×5 (249)×40 以上/80 ⑧枯枝 φ5, L=200 ⑨大枝 増生病 多数 ⑩ルートカラー見えない											
部 位 判 定	判定	部位	根元	幹	骨格となる大枝							
	健全か健全に近い		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	注意すべき被害が見られる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■							
	著しい被害が見られる		■	■	<input type="checkbox"/>							
	不健全		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	剪定が必要		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■							
機器診断が必要		■	■	<input type="checkbox"/>								
外観診断判定	<input type="checkbox"/> A:健全か健全に近い <input type="checkbox"/> B1:注意すべき被害が見られる <input checked="" type="checkbox"/> B2:著しい被害が見られる <input type="checkbox"/> C:不健全											
判定理由	幹に腐朽と子実体、根元から幹にかけて打診音異常が見られる。また、根元にコフキササルノコシカケ、芯達開口空洞が見られる。樹体内部で腐朽の疑いがあるため機器診断が必要である。強風などにより倒木や折損の恐れがあるため、風圧軽減剪定が必要である。枯枝と増生病の見られる大枝は除去の必要がある。											
機 器 診 断	測定データ1	部位(G.L)	m	腐朽空洞率:	%	t/R率:	①	②	③	④		
	測定データ2	部位(G.L)	m	腐朽空洞率:	%	t/R率:	①	②	③	④		
	判定理由											
総合判定	<input type="checkbox"/> A:健全か健全に近い <input type="checkbox"/> B1:注意すべき被害が見られる <input checked="" type="checkbox"/> B2:著しい被害が見られる <input type="checkbox"/> C:不健全											
判定理由	幹に腐朽と子実体、根元から幹にかけて打診音異常が見られる。また、根元にコフキササルノコシカケ、芯達開口空洞が見られる。樹体内部で腐朽の疑いがあるため機器診断が必要である。強風などにより倒木や折損の恐れがあるため、風圧軽減剪定が必要である。枯枝と増生病の見られる大枝は除去の必要がある。											

No. 1

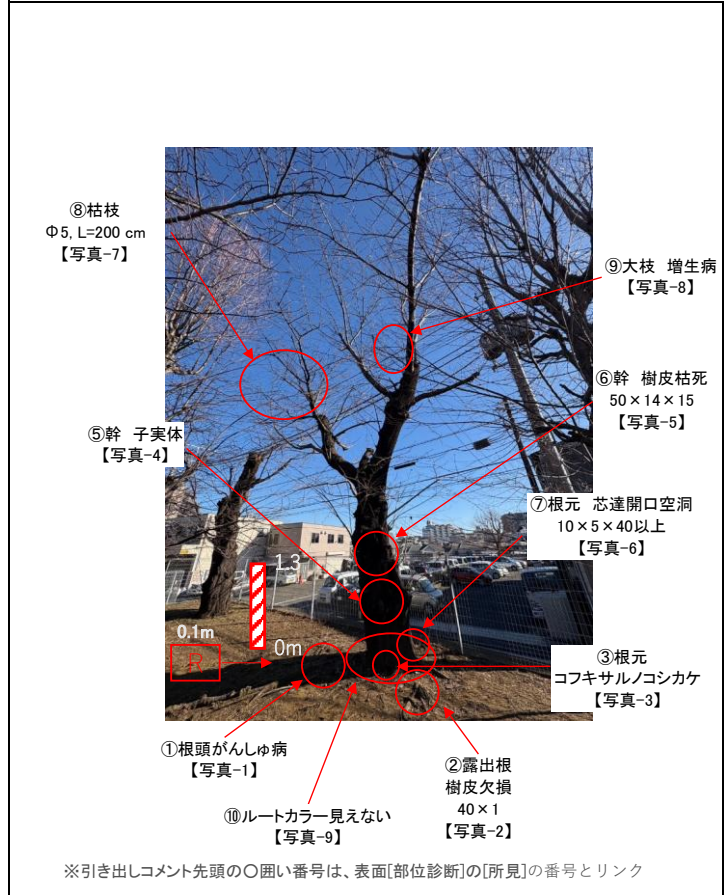
処置 内容	必要性	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
		<input type="checkbox"/> 要観察(長期周期) <input checked="" type="checkbox"/> 要観察(短期周期)					
	■ 剪定等 ( <input type="checkbox"/> 枯枝 <input type="checkbox"/> 腐朽枝等 <input type="checkbox"/> 支障枝 <input checked="" type="checkbox"/> 風圧軽減 <input type="checkbox"/> スタブカット <input type="checkbox"/> 巻き根 )						
	<input type="checkbox"/> 樹体保護 (    ) <input type="checkbox"/> 植栽基盤の改善 (    )						
	<input type="checkbox"/> 根上がり (    ) <input type="checkbox"/> 病虫害防除 (    )						
	<input type="checkbox"/> 更新 (    ) <input type="checkbox"/> その他 (    )						
摘要							



立地環境



根元



診断概要図



【写真-1】根頭がんしゅ病



【写真-2】露出根 樹皮欠損



【写真-3】根元 コフキササルノシカケ

その他特記事項

次回診断	■フォローアップ診断(■要機器診断 部位: 根元 0.1m )	<input type="checkbox"/> 外観診断
次回フォローアップ診断時期	■1年後 <input type="checkbox"/> 2年後 <input type="checkbox"/> 3年後    ( R7 年度)	
位置座標(WGS84)	緯度    °    '    "	経度    °    '    "



【写真-4】幹 子実体



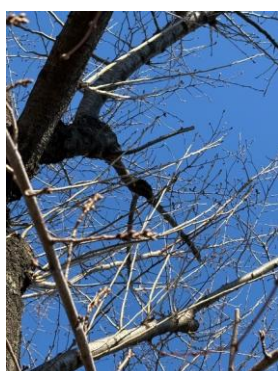
【写真-5】幹 腐朽



【写真-6】根元 開口空洞



【写真-7】枯枝



【写真-8】増生病



【写真-9】ルートカラー見えない